

RTX-65 GUNTANK EARLY TYPE

RTX-65 ガンタンク初期型

ムンツ自治共和国首都パンチ・コロニーの街並みは、ヨーロッパの都市を彷彿とさせた。所詮は宇宙に浮かぶ人工の島に設けられたイミテーションでしかなかったかもしれないが、それなりの景観を造りだしてはいた。U.C.0068年、首都パンチのドッキング・ベイに通じるメインストリートで、1両のガンタンク初期型と4両の同型機が対峙していた。

幼い妹をヒザの間に座らせたまま青い瞳の少年が照準スコープを覗く。表示されるレティクルは目標を捉えていた。すでに安全装置は解除されている。少年はトリガーを引いた。轟音とともにガンタンク初期型の主武装、大口径砲から砲弾が発射される。機体が大きく後ろへ跳ね上がる間に、砲弾は目標物であった同型機に着弾する。同型機は繰り糸が切れた人形のようにのけぞり腕を投げ出した。爆発に襲われて黒煙が上がる。大きく息を吐く。スコープから見える同型機3両が回避行動を取る。上半分だけ人型の戦車が慌てふためいているようでどこか滑稽にさえ見える。次なる目標を定めて、2射目。盛大に部品をばらまいて2両目も機動を停止する。そこに動揺も怯えもなく、少年は残りの敵機に向かってガンタンク初期型を突進させた。同型機は応戦してきたが、4連装機関砲で牽制しつつ停止後、大口径砲の3射目を撃ち込む。少年が乗り込んでいたガンタンク初期型も被弾していたが構うことなく最後の同型機に4連装機関砲を撃ちつづけた。右側履帯を破壊した同型機がクルクルとワルツのように回転していく。妹の叫び声で少年はようやく我に返ると、最後の1両が爆発した。こうして初めての戦闘が終了し、キャスバルが少年でいられた日々も終わりを迎えた。



※画像はイメージです。

REAR VIEW

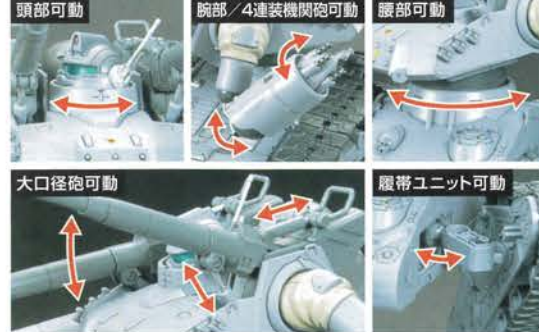


リアビュー FRONT VIEW



フロントビュー

GIMMICK



ギミック

MARKING

①～⑬の番号はマーキングシールの番号です。□両腕とも同様に貼ります。
※余ったマーキングシールはお好みで自由にお貼りください。



マーキング

COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、こちらの基本色をご覧ください。 ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
※カラー配合値は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

● 本体等： ニュートラルグレー(60%) +ホワイト(40%) +ブルーグレー(少量)	● 大口径砲： グレー(100%)	● 履帯： グレー(80%) +ダークグリーン(20%)	● 4連装機関砲 銃口： 黒鉄色(100%)	● 肩部 防護カバー： ホワイト(70%) +サンディエロー(30%) +ブラック(少量)	● 背部 排煙ダクト： グレー(100%) +ココアブラウン(少量)
● 関節等： グレー(80%) +ブラック(20%)	● アンテナ等ホワイト部： ホワイト(80%) +グレー(20%)	● シリンダー等シルバー部： シルバー(100%)	● 窓等グリーン部： エメラルドグリーン(40%) +スカイブルー(30%) +ホワイト(30%)	● 顔センサー： シャインレッド(40%) +モンザレッド(40%) +ニュートラルグレー(20%)	● 車体センサー： パープル(100%)

●ここに掲載している情報は2015年5月現在のものです。

© 創通・サンライズ

HG
GUNDAM THE ORIGIN
1/144 SCALE

機動戦士ガンダム
THE ORIGIN
ジ・オリジン

GUNDAM.INFO Search
www.gundam.info
バンダイホビーサイト www.bandai-hobby.net/
Any fees accrued by your access method and connection to the website are your own responsibility.
ホームページにアクセスする際の通信料等はお客様の責任ととなります。



RTX-65 GUNTANK EARLY TYPE
E.F.S.F. LONG-RANGE SUPPORT MOBILE SUIT
HG 1/144 「ガンタンク初期型」

●画像の完成品は塗装してあります。 ●この商品には、HG 1/144 ガンタンク初期型が1体のみ入っています。
●画像と商品とは多少異なりますのでご了承ください。

BANDAI 2015 MADE IN JAPAN

0196528



警告(けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

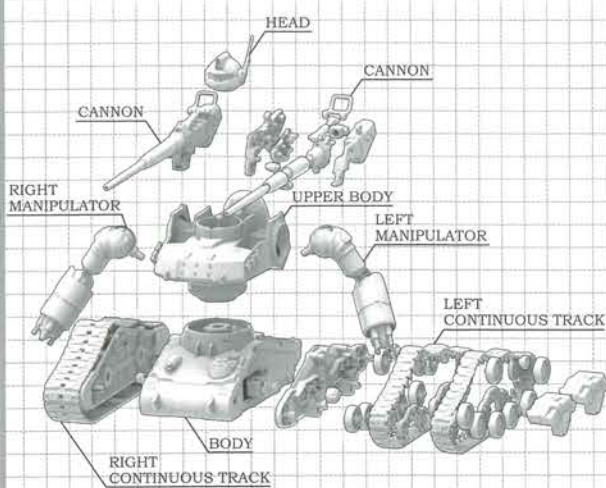
- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

注意(ちゅうい)

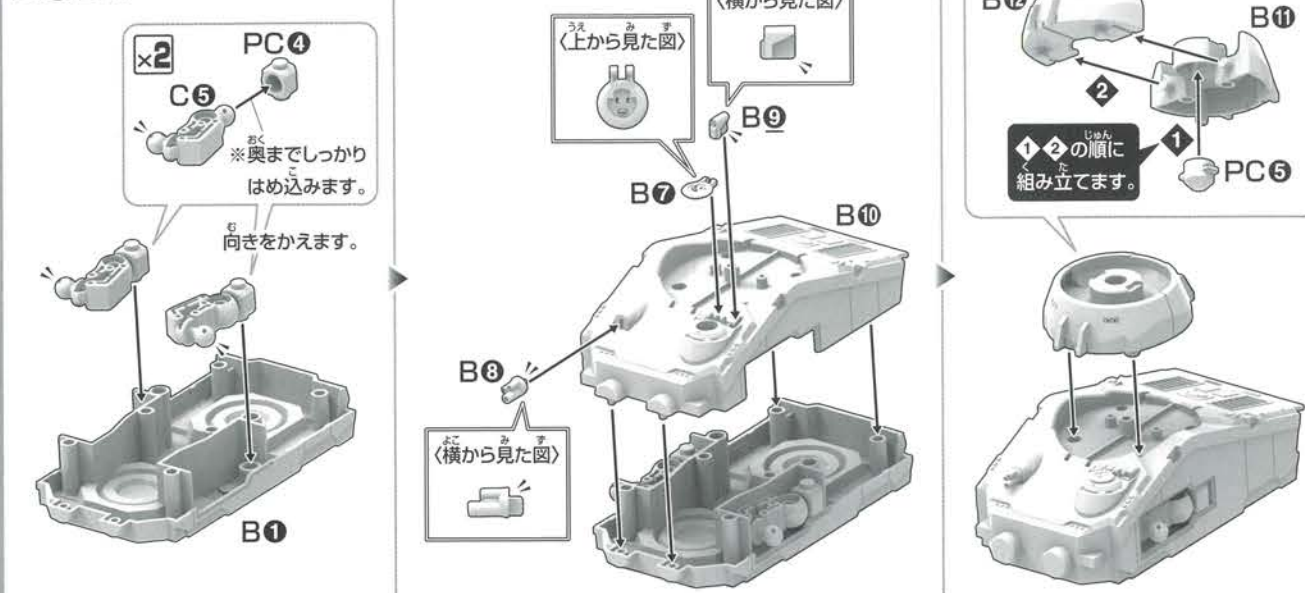
- 縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。
- 先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。
- 部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。
- 袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。



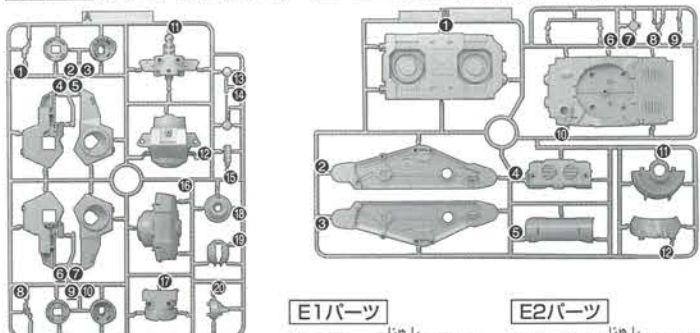
BODY



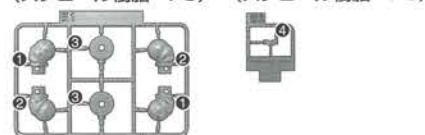
PARTS LIST

※X印は使用しないパーツです。

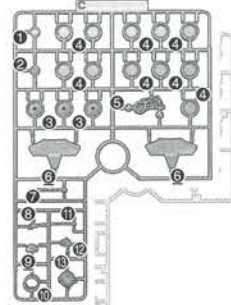
Aパーツ (スチロール樹脂: PS) Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



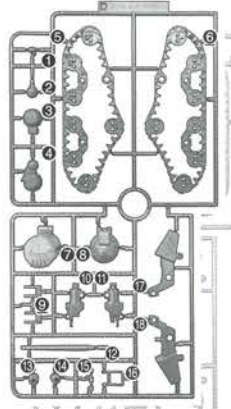
E1パーツ (スチロール樹脂: PS) E2パーツ (スチロール樹脂: PS)



Cパーツ (x2) (スチロール樹脂: PS)

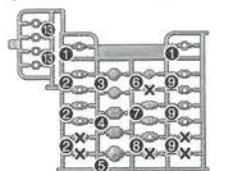


Dパーツ (x2) (スチロール樹脂: PS)



※D7、D8は1パーツずつ余ります。

PC-132Cパーツ (ポリエチレン: PE)



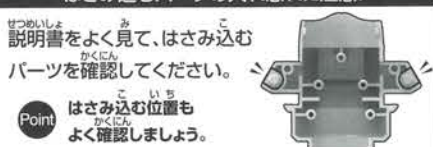
マーキングシール……1

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

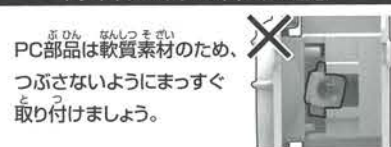
各部品は、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。



はさみ込むパーツの入れ忘れに注意!

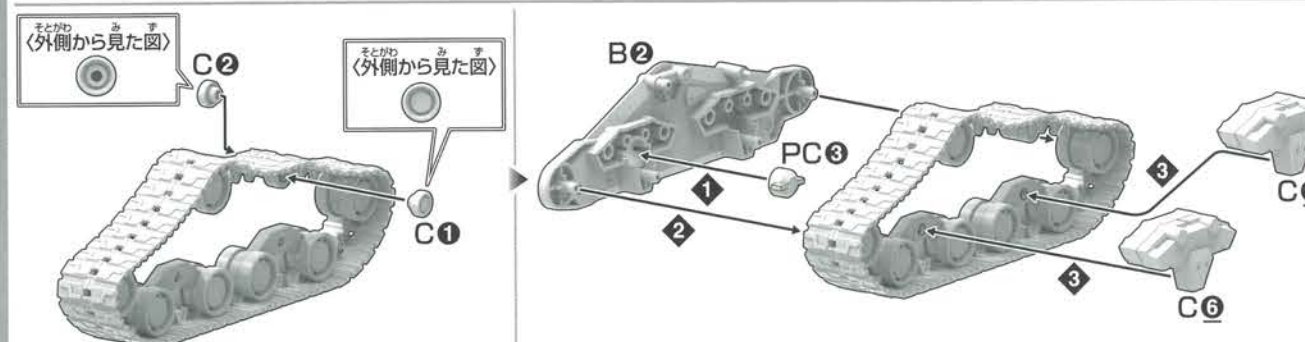
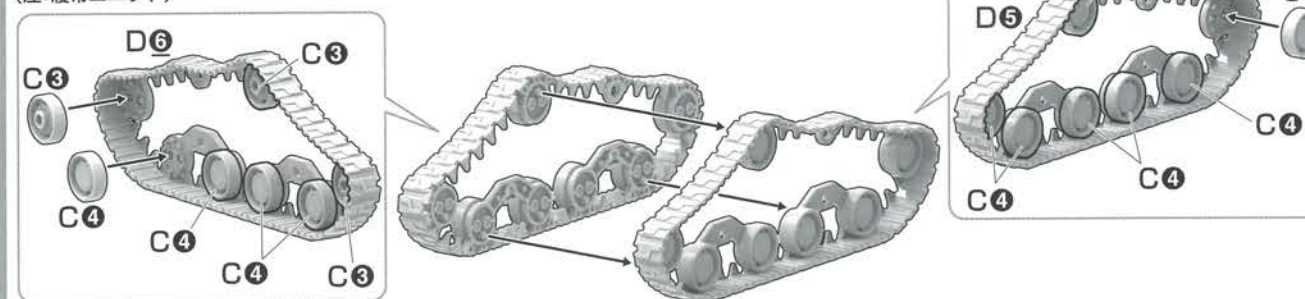


ポリキャップのすれ、曲がり要注意!



LEFT CONTINUOUS TRACK

(左:履帯ユニット)



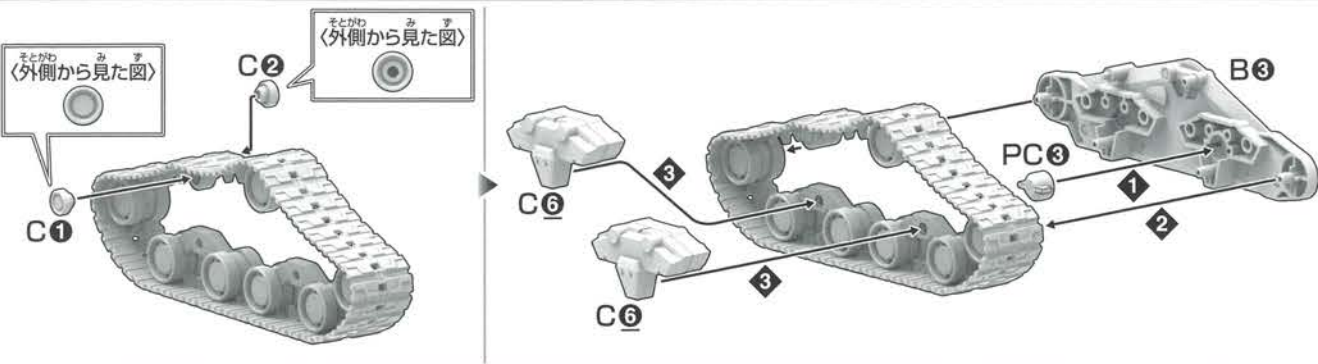
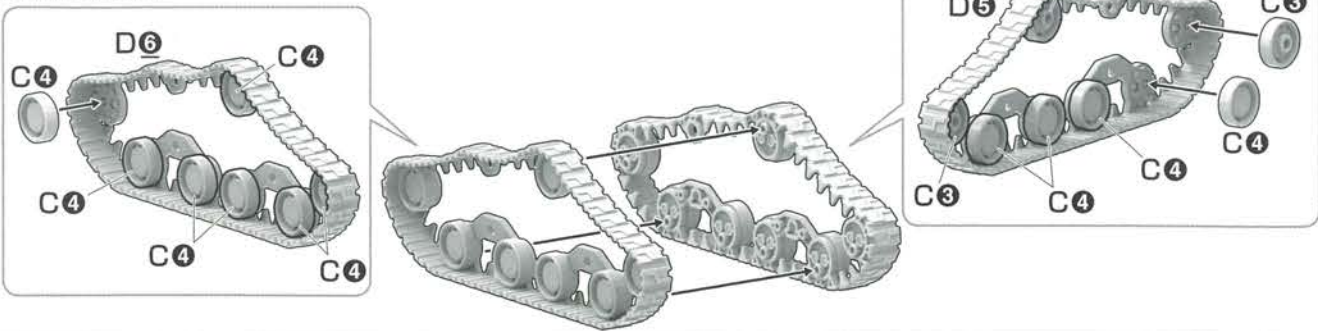
※組立図中の記号説明

x2 部品を数値の個数作ります

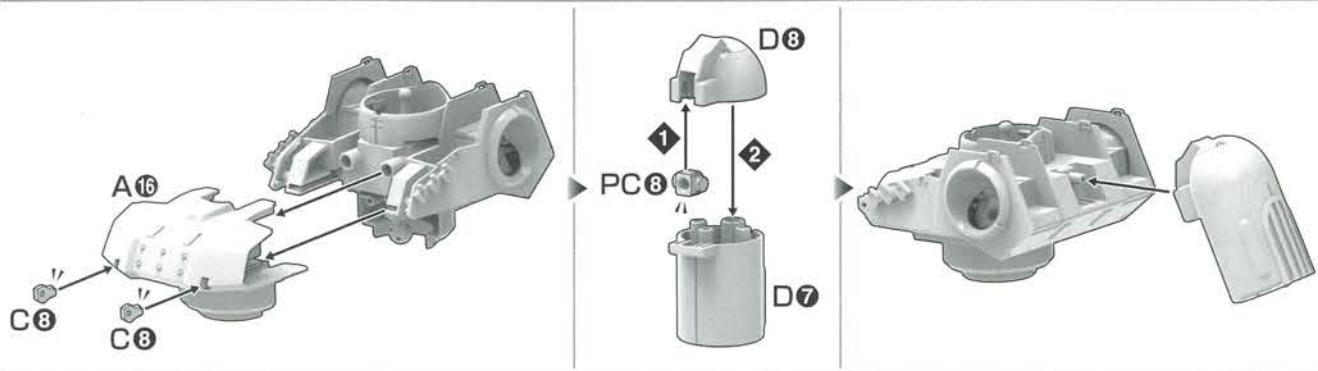
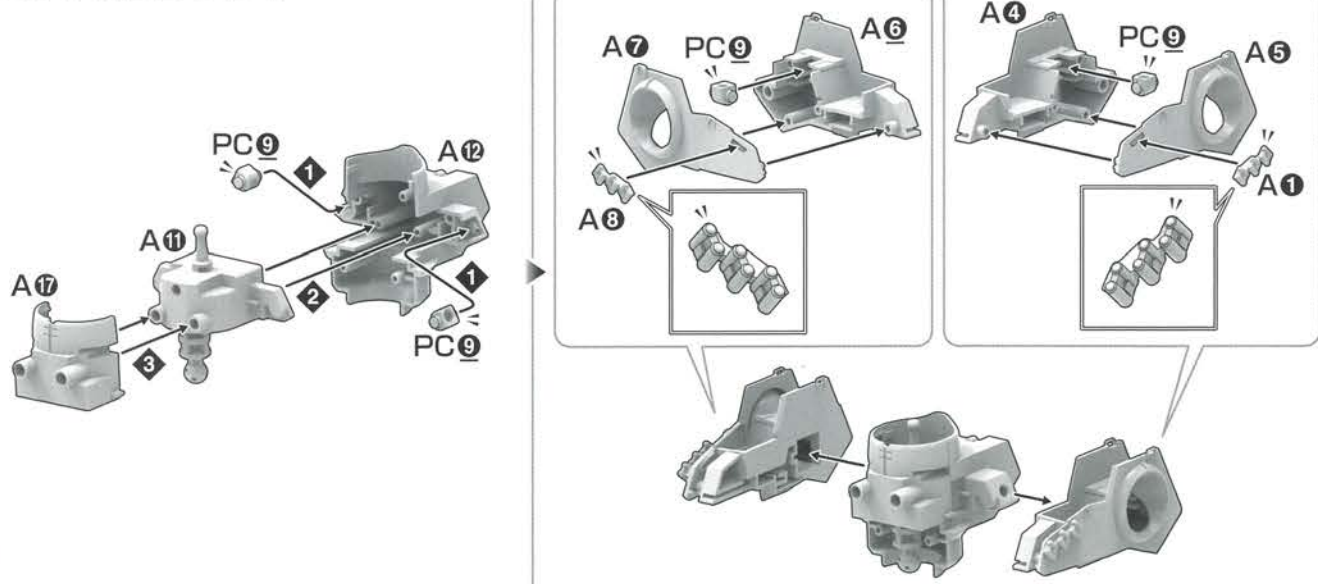
← 部品の向きに注意します

RIGHT CONTINUOUS TRACK

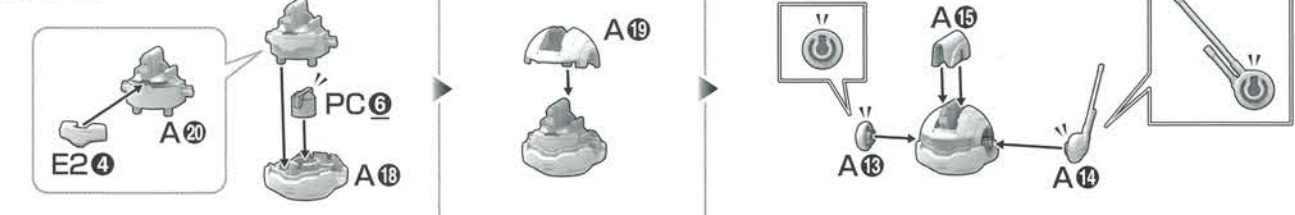
みぞ 入れたい (右:履帯ユニット)



UPPER BODY

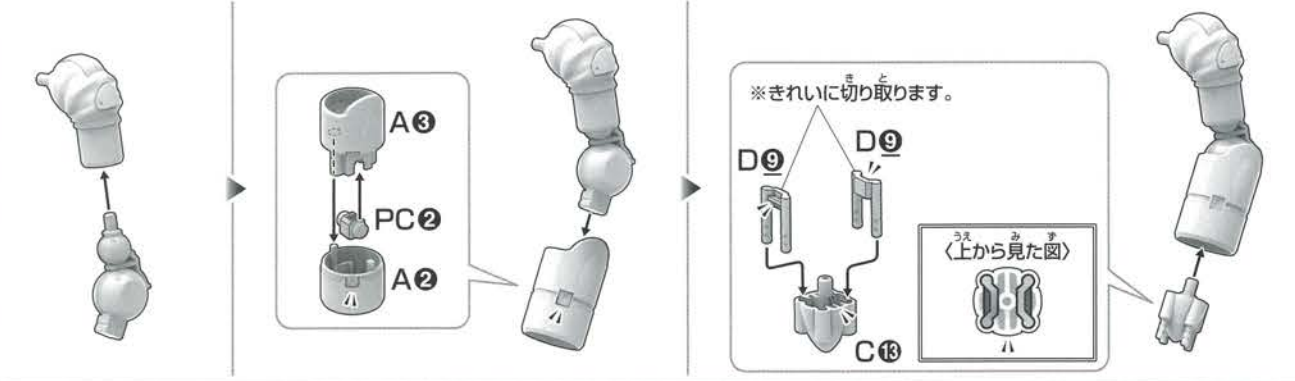
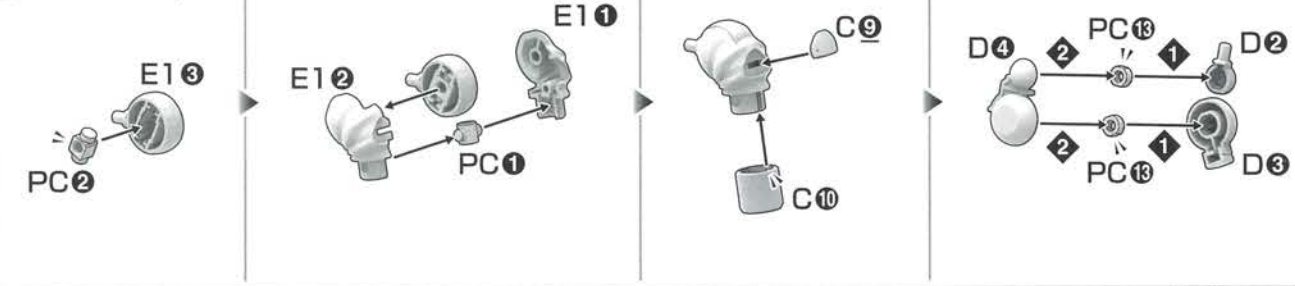


HEAD



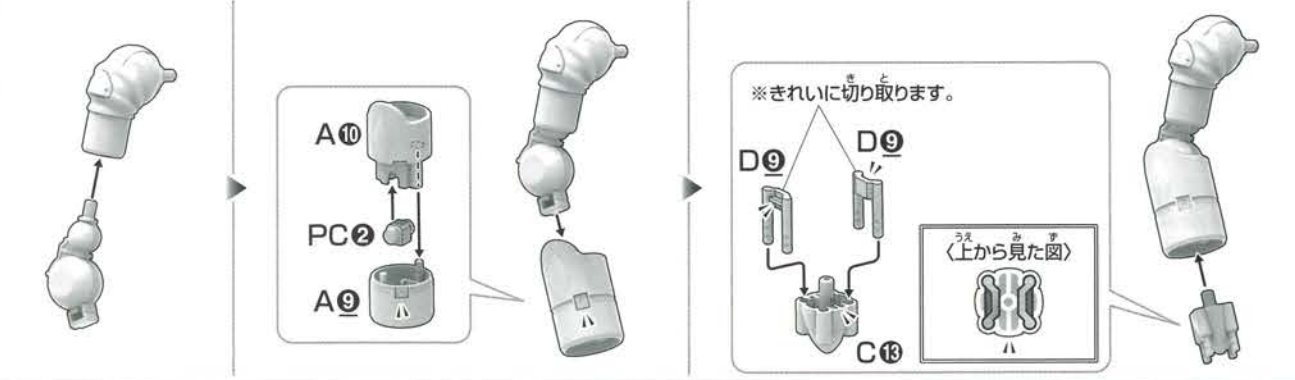
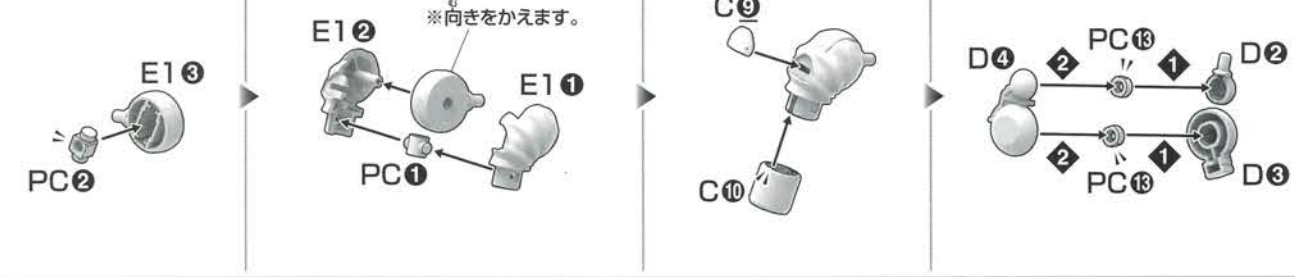
LEFT MANIPULATOR

みぞ 入れたい (左:マニピュレーター)



RIGHT MANIPULATOR

みぞ 入れたい (右:マニピュレーター)



RTX-65 GUNTANK EARLY TYPE ガンタンク初期型

宇宙世紀に入り、過去に類を見ない大型戦車両が誕生した。それがRTX-65 ガンタンク初期型である。地球連邦軍の制式採用はU.C.0065年。履帯に人の上半身を乗せたようなシルエットをもつガンタンク初期型は、肩に大口径砲を2門、マニピュレーターに対地・対空戦闘に対応した4連装機関砲を装備する。サイズも破格で全高が13.1m。戦車両では大型に分類される61式戦車初期2型(全高3.6m)のおよそ3倍にあたる。操縦席は車両の前方に配置され、いわゆる頭部には砲座が置かれた。パイロット2名で機体制御と火器管制が分担されていたが、すべての操作はどちらのシートからも行える。履帯の特性上、不整地走破能力は良好で、整地では巨体に似合わず高速で走行できる。各スペースコロニーに配備された名目はあくまで治安維持であったが、その大きさと

異様な外見から人々に与える心理的影響も大きく、反乱分子を封じる効果も期待されていた。反地球連邦運動が激しさを増し、独立の気運も高まっていたサイド3、ムンゾ自治共和国でもガンタンク初期型の姿が確認されている。U.C.0068年、ムンゾ首都パンチ・コロニーに配備されていた内の1機が奪取される事件が発生。その一団はジオン・ズム・ダイクンの遺児を拉致して逃走を図り、メインストリートで待ち構えていたガンタンク部隊と戦闘を繰り広げている。頑強な巨体と重火器により、それなりの優位性を確保していたガンタンク初期型だったが、新時代の主役たるモビルスーツの登場で、過去の存在へと追いやられていくことになる。後年の研究では、この機体もモビルスーツのカテゴリに含まれるとする後世の解釈もあるが、決着はついていない。



大口径砲

ガンタンク初期型の主武装で長砲身から実弾を撃ち出す。長距離からの支援射撃などに使用される。威力が大きいので、機体を受ける反動もすさまじい。背部中央に排煙ダクトがあり、砲撃時に発生する熱や煙を排出する。



スモーク・ディスチャージャー

張り出した胸部両側面に3セットずつ設けられた発煙弾発射機。防御戦闘に移行した際に敵の視界を一時的に奪うために発射し、煙幕を張る。

コックピット

ガンタンク初期型はコックピットが頭部側と本体側に分かれている。本体側に車長と操縦手が、有視界戦闘が可能な頭部側に砲手が乗り込む。2つのコックピットは内部でつながり、行き来できる。



3連装機銃

車両部の前面右側に設置された機銃。銃座はなく、コックピット側から操作できる。暴動鎮圧であれば、生身の人間にはこの機銃だけでも十分な脅威となる。



4連装機関砲

近距離戦にはマニピュレーターに装着された4連装機関砲に対応する。フレキシブルに動くマニピュレーターは対地・対空戦闘にも有効である。薬莖はマニピュレーターの外側に設けられた排莖口から排出される。



SPEC

- 型式番号: RTX-65
- 全高: 13.1m
- 全幅: 12.1m
- 武装: 大口径砲
- 4連装機関砲
- スモーク・ディスチャージャー
- 3連装機銃

※データは劇中の設定です。



履帯ユニット

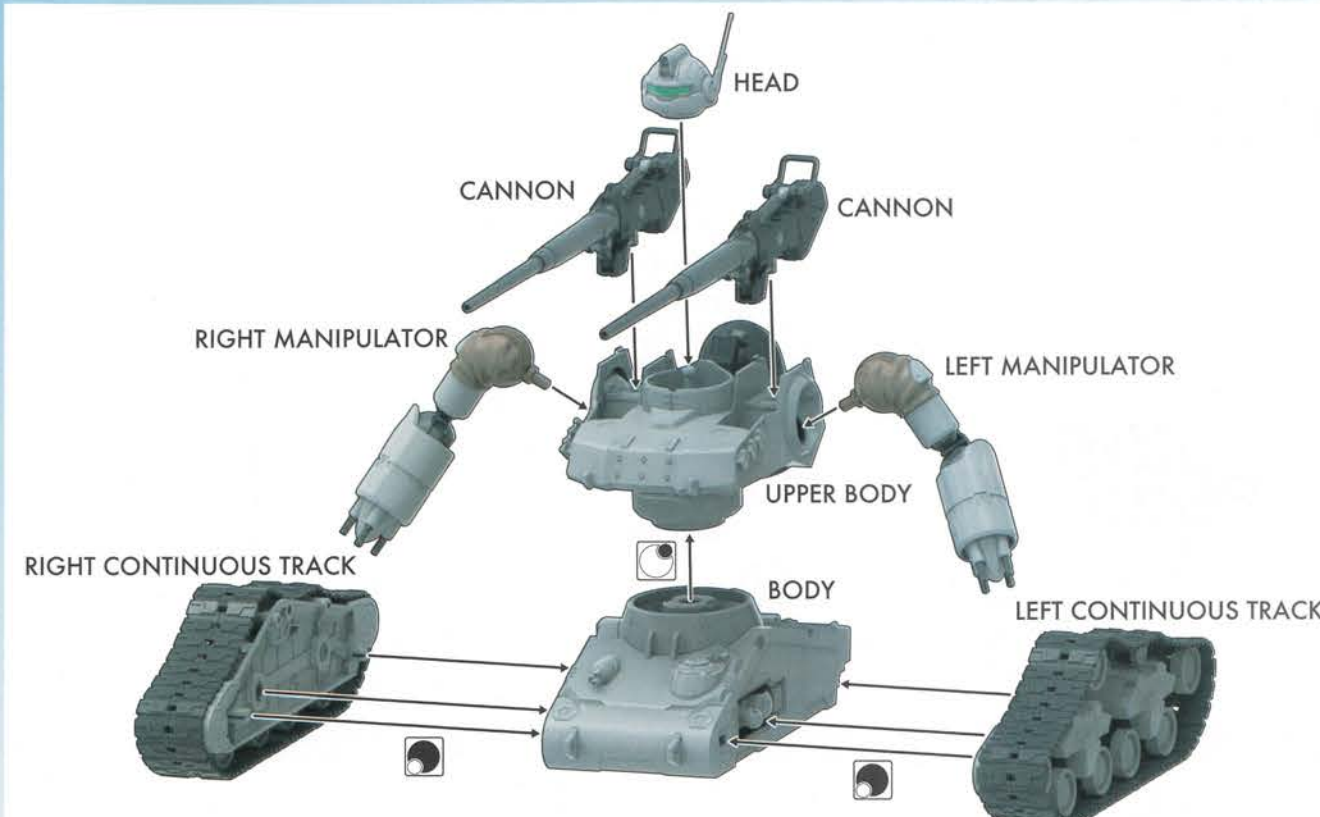
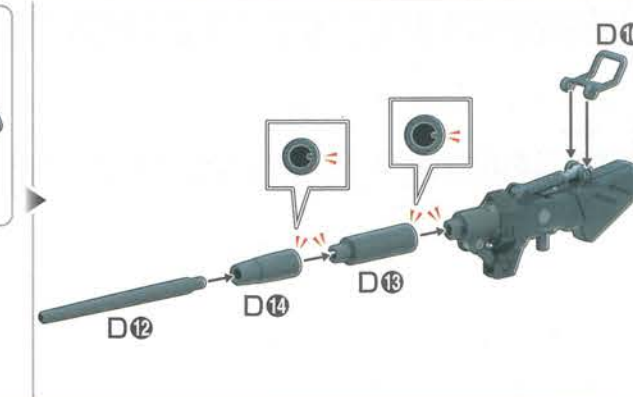
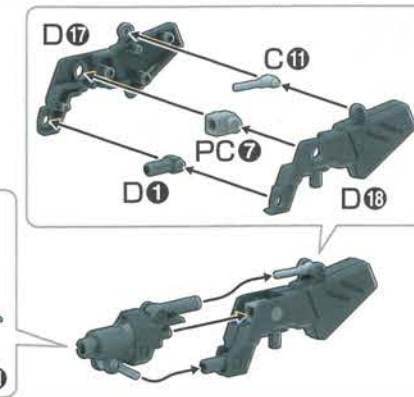
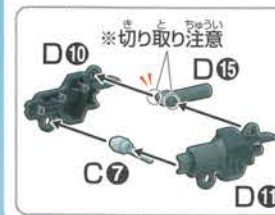
整地・不整地を選ばず、高い走破能力を発揮する。履帯ユニットは本体とは個別に可動し、障害物に乗り上げた場合も本体を水平に保つ。またショックアブソーバーにより砲撃時の反動を軽減する。



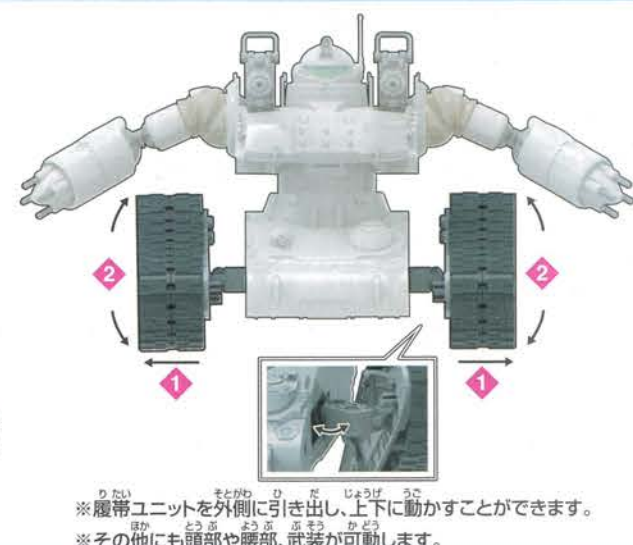
CANNON

たいこうけいほう (大口径砲)

×2



GIMMICK



※履帯ユニットを外側に引き出し、上下に動かすことができます。
※その他にも頭部や腰部、武装が可動します。

※組立途中の部品を数値の個数作ります ×2
※部品の向きに注意します
※最初に組み立てます
※最後に組み立てます



アルテイシア・ゾム・ダイクン

キャスバル・レム・ダイクン
人の革新を説いたジオン・ズム・ダイクンの遺児。父の死後、ザビ家とラル家の政争に巻き込まれるも、ランバラルの尽力で地球へ逃亡することになる。だが、それは最愛の母アストライアとの別れを意味していた。逃亡のさなか、脱出を阻もうとする連邦軍のガンタンク部隊をキャスバルは「敵だ!!」と確信する。怒りに駆られトリガーを引き続ける兄と、目の前で起こる惨状を目の当たりにし、アルテイシアは叫ぶ。「やめて、お兄ちゃん!!」

CASVAL & ARTESIA